

「家——その構造分析——」

喜多野清一 岡田謙

序

日本に於ける先祖の概念

——家の系譜と家の本末の系譜と——

有賀喜左衛門

日本に於ける同族研究の意義 岡田謙

江戸中期山村の家族構成 喜多野清一

家族形態の周期的変化 小山隆

近世中期信州今井村今井家の労働組織 島田隆

近隣集團と家 竹内利美

——東北村落の一事例を通じて——

日本人移民の家族に関する二、三の問題 塚本哲人

検地帳の家 中村吉治

対馬村落における同族、親方子方關係 中村正夫

大和屋暖簾内蓄料抄 中野直

初期町人と同族組織 永島福太郎

貧労労者の形成と家族 関宏

徳川期における農家の年中行事記録

——筑前朱雀家と筑後河北家——

秀村選三

牧野昇

喜多野清一

眞宗教團における寺連合の諸類型

哲学史学第六

(一九五六)

喜多野清一

金沢大學法文学部論叢

（一九五六）

○有賀喜左衛門近記念論文集の内容摘要の
梗概を一会员から受けましたので、左に掲げ

○寄贈文獻

次の文献が事務局宛よせられました。

今後、本部では、会員各位から贈られた論稿
を整理保存しておこうと考えております。

大山謙一 「シニグへの参加」

——奄美大島・与論島の社会体系
の形成に関する研究の一部

金沢大學法文学部論叢 哲學史学第六

(一九五六)

○有賀喜左衛門近記念論文集の内容摘要の
梗概を一会员から受けましたので、左に掲げ